

ダイバーシティ推進に向けた 外国人バス運転士受入について

東急バス株式会社
ワークスタイルイノベーション推進室
人財開発部担当課長 小山 隼人

ココロをのせて、明日へ。



目次

1. 東急バスについて
2. 採用活動について
3. 自動車運送業分野の特定技能制度概要について
4. 東急グループのベトナム事業について
5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

1. 東急バスについて

会社概要

会 社 名	東急バス株式会社
本 社	東京都目黒区東山3-8-1
資 本 金	1億円
設 立	1991年5月21日
事 業 内 容	自動車運送事業、不動産賃貸業、旅行業
従 業 員 数	2,427名（2025年3月31日現在）
営 業 収 益	306億46百万円（2025年3月期）
車両 台 数	944両（2025年3月31日現在）
株 主	東急株式会社100%

1. 東急バスについて

総車両数:944両(2025年3月31日現在)

一般乗合旅客自動車運送事業

115路線/659系統

- ・一般路線バス
- ・空港連絡バス
- ・高速バス
- ・定期観光バス

バス停の本数 3,500本



【総走行糠】

9万6000km/日 年間:3,500万km

地球(1周:4万km)⇒約2.4周/日

【年間輸送人員】

約1億3800万人/年(2023年度)

日本総人口*とほぼ同等

*約1億2451万人(2023年7月1日現在)

一般貸切旅客自動車運送事業

- ・観光バス
- ・学校遠足
- ・イベント送迎



特定旅客自動車運送事業

- ・企業/学校/病院などの送迎

自家用自動車管理業

- ・自家用車両の運行、整備などを総合管理

2. 採用活動について

バス運転手、2030年度に3.6万人不足 24年問題も影響

[Think! 住建・不動産 大阪 福岡 神奈川 広島 新潟 北海道 経済](#)

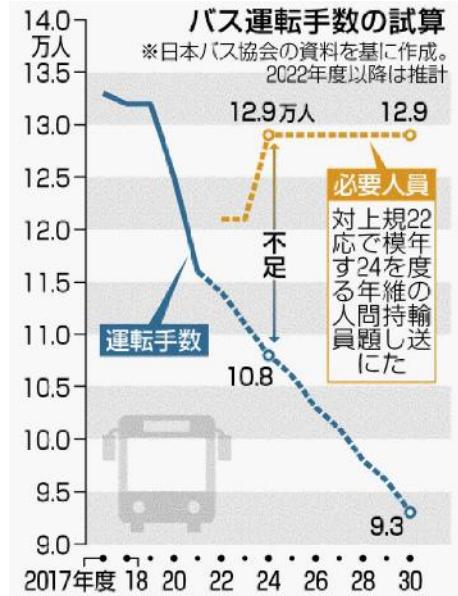
2023/9/18 2:00 | 日本経済新聞 電子版

 Think!を見る

路線バス 8割で今年「減便・廃止」 2024年問題への対応、運転手不足でダイヤ維持困難

2023年11月22日(水)13:15

PR TIMES



当社も例外ではなく、人材不足の危機に深刻な採用状況を解消するため、
2024年度より異次元の採用活動をスタート

2. 採用活動について

子会社東急トランセとの統合

株式会社東急トランセは「従来とは異なった輸送サービスの提供」を目的とし1998年に東急バス株式会社の100%子会社として設立

近年の採用環境の悪化と共に、2024年問題を背景にした人手不足の課題に対応することなどを目的に2024年4月1日に東急バスと統合。



2. 採用活動について

主な取り組み

1. 初任給引き上げと在籍従業員の賃金引上げ（2年連続）
2. 人財定着・離職防止に向けた取り組み

- 奨学金制度の新設
- 整備士体験会（関東の民鉄バス事業者初）
- 運転士体験会
- 各種支援の拡充（入社祝金、社宅・借上寮、大型二種養成制度）

3. 採用プロモーションの強化



**バス運転士になりたい方のための
バス運転士体験会
を開催します!**

参加費無料 ご家族の見学可 要予約

開催日時 2025年 9月21日(日)
1回目 10:00 2回目 14:00
(各回2時間程度を予定しています)

開催場所 東急バス虹が丘営業所

定員 各回先着10名

私たちがご案内します!

東急バス



2. 採用活動について

性別、年齢、国籍に関わらず、
様々な人財が活躍できるダイバーシティ企業を目指す
具体的には・・・

- 女性乗務員比率の向上（現状全体の3%）
- 高年齢層が活躍できる環境整備
- 外国人バス運転士の受入



3. 自動車運送業分野の特定技能制度概要について

日本バス協会「外国人運転者受入推進部会」について

〔目的〕

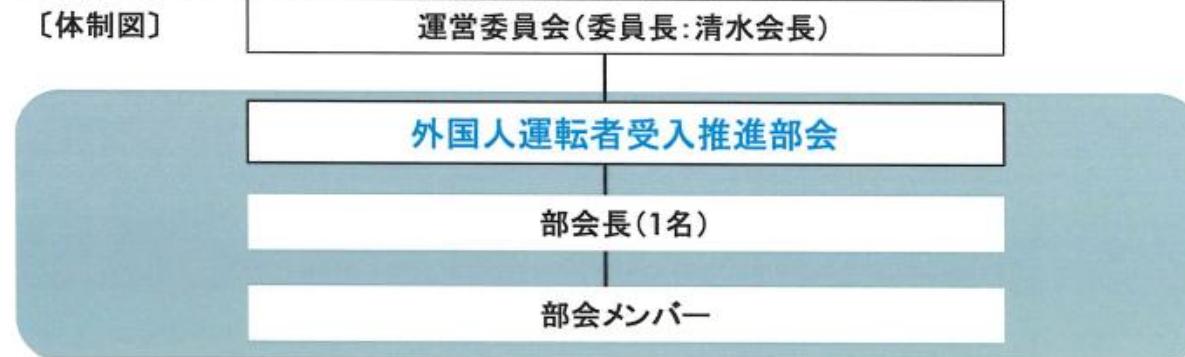
- ・今後も人材不足が続くバス業界において、営業用バス運転者として有すべき特別な技能を有する外国人を受け入れることにより、国民生活に不可欠なバスサービスの維持・向上を図るため、外国人運転者の受入れに必要となる制度改正や環境整備等に取り組み、外国人運転者の受入れを推進する

〔検討項目〕

- ①特定技能制度などの在留資格の見直しについて
- ②大型第二種免許の円滑な取得について

〔体制〕

- ・運営委員会の下に「外国人運転者受入推進部会」を設置する



1

2023年9月、日本バス協会内に「外国人運転者受入推進部会」が設置される

3. 自動車運送業分野の特定技能制度概要について

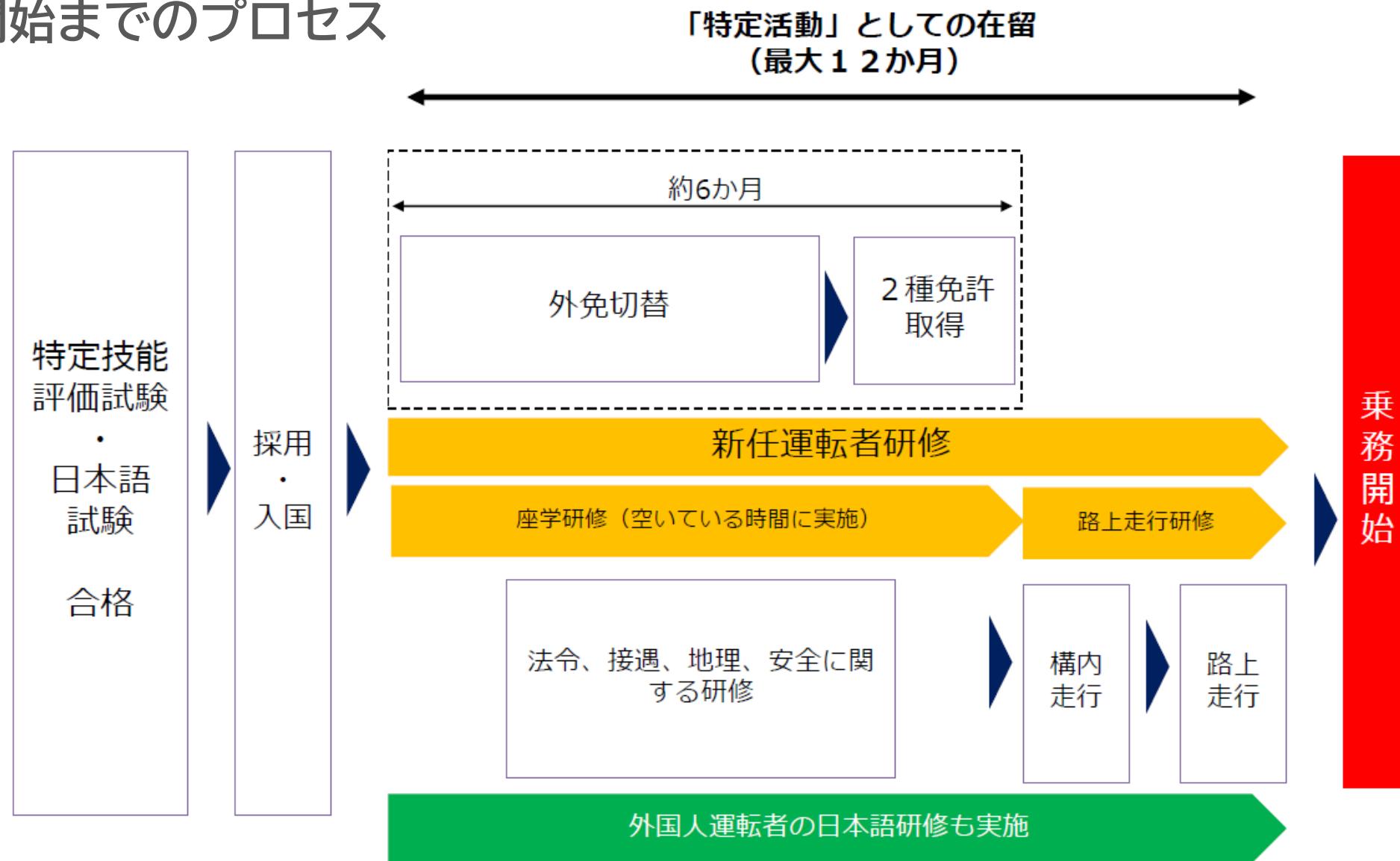
自動車運送業分野の特定技能制度概要

- 担い手不足への対応が喫緊の課題となっている自動車運送業分野（バス、タクシー及びトラック運転者）について、特定技能制度の対象分野への追加を閣議決定（令和6年3月29日）。
- 特定技能外国人の受入れに向けて、特定技能評価試験の実施に係る準備等を関係団体等と連携して進める。

	トラック	バス	タクシー
・受入れ見込数	2. 45万人(総計)		
・主な業務内容	①運行業務 ②荷役業務	①運行業務 ②接遇業務	
・技能水準	①第一種運転免許(※1) ②特定技能評価試験(トラック)(※2)	①第二種運転免許(※1) ②特定技能評価試験 (バス)(※2)	①第二種運転免許(※1) ②特定技能評価試験 (タクシー)(※2)
※1 日本国内で運転免許を取得するための手続等に要する期間については、在留資格「特定活動」（バス運転者及びタクシーより運転者については1年・更新不可、トラック運転者については6ヶ月・更新不可）で在留を認める。 ※2 特定技能評価試験は各業界団体及び実施者である（一財）日本海事協会において準備。			
・日本語能力	・日本語能力試験N4 又は ・日本語基礎テスト 合格	日本語能力試験N3	日本語能力試験N3
・受入れ事業者の要件	・「働きやすい職場認証制度」 又は 「Gマーク制度」の認証取得 等	・「働きやすい職場認証制度」の認証取得 等	・「働きやすい職場認証制度」の認証取得 等

3. 自動車運送業分野の特定技能制度概要について

乗務開始までのプロセス



入国後1年以内に「外免切替」、「大型二種免許取得」、「新任運転者研修」が必要

3. 自動車運送業分野の特定技能制度概要について

バス運送業において受入れ事業者に課される要件

1. 道路運送法に規定する自動車運送事業を経営する者であること

2. 働きやすい職場認証の取得

※法人単位の取得が基本

※認証には星1~3があるが、星の数は問わない



3. 自動車運送業分野特定技能協議会（※）の構成員になり、必要な協力をを行うこと

※特定技能制度の適切な運用を図るために設置されている機関。

初めて特定技能外国人を受け入れる際の入管への在留資格申請前に、事前加入する必要がある。

4. 特定技能1号の在留資格で受け入れる予定の外国人に対し、新任運転者研修を実施すること

- ・ <出典> 「自動車運送業分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針」に係る運用要領（2024年4月19日）

3. 自動車運送業分野の特定技能制度概要について

受入れ機関に課される「義務的支援」

①事前ガイダンス

- ・在留資格認定証明書交付申請前又は在留資格変更許可申請前に、労働条件・活動内容・入国手続・保証金徴収の有無等について、対面・テレビ電話等で説明



②出入国する際の送迎

- ・入国時に空港等と事業所又は住居への送迎
- ・帰国時に空港の保安検査場までの送迎・同行



③住居確保・生活に必要な契約支援

- ・連帯保証人になる・社宅を提供する等
- ・銀行口座等の開設・携帯電話やライフラインの契約等を案内・各手続の補助



④生活オリエンテーション

- ・円滑に社会生活を営めるよう日本のルールやマナー、公共機関の利用方法や連絡先、災害時の対応等の説明



⑤公的手続等への同行

- ・必要に応じ住居地・社会保障・税などの手続の同行、書類作成の補助



⑥日本語学習の機会の提供

- ・日本語教室等の入学案内、日本語学習教材の情報提供等



⑦相談・苦情への対応

- ・職場や生活上の相談・苦情等について、外国人が十分に理解することができる言語での対応、内容に応じた必要な助言、指導等



⑧日本人との交流促進

- ・自治会等の地域住民との交流の場や、地域のお祭りなどの行事の案内や、参加の補助等



⑨転職支援(人員整理等の場合)

- ・受入れ側の都合により雇用契約を解除する場合の転職先を探す手伝いや、推薦状の作成等に加え、求職活動を行うための有給休暇の付与や必要な行政手続の情報の提供



⑩定期的な面談・行政機関への通報

- ・支援責任者等が外国人及びその上司等と定期的(3か月に1回以上)に面談し、労働基準法違反等があれば通報



3. 自動車運送業分野の特定技能制度概要について

(参考) 日本語能力試験 (JLPT) におけるレベルの目安

むずかしい

やさしい

レベル	読 む	聞 く
N 1	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。 さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。
N 2	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
N 3	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができます。 新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。 日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。
N 4	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。
N 5	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができます。

- <出典>日本語能力試験ホームページ「N1～N5：認定の目安」（2024年6月30日閲覧）

4. 東急グループのベトナム事業について

東急株式会社（当時東京急行電鉄株式会社）は2012年3月にベトナムのベカメックス IDC 社との合弁によりベカメックス東急有限会社を設立し、ホーチミン市に隣接するビンズン省（2025年7月よりホーチミン市に統合）で街づくりを開始



4. 東急グループのベトナム事業について

交通事業では、ビンズン省（当時）の旧市街であるトゥーヤモットとビンズン新都市を結ぶバス路線を計画し、ベカメックス東急の100%子会社として2014年2月にベカメックス東急バスを設立し、路線バス「KAZE SHUTTLE」の運行を開始



4. 東急グループのベトナム事業について

ベカメックス東急バスはバイク移動から公共交通機関へのモーダルシフトを促すことを目標に、「安全運行の徹底」や「時刻表による定時運行」、「エアコン・WiFiを完備した快適な車両」、「丁寧な接客や案内」など日本のノウハウを取り入れる

当初は日本では当たり前のサービスがなぜ必要なのか理解してもらうのに大変苦労するが、1つずつ丁寧に説明することで徐々に従業員へ浸透していく



4. 東急グループのベトナム事業について

01 停留所毎に時表を
掲出した定時運行



02 安全・快適な
車両で運行



03 乗務員の
丁寧な接遇



04 安全・事故防止
教育の徹底



05 I T技術を駆使した
サービスの提供



06 乗務員ワンマン化
による効率的経営



07 日本の東急バス
からの技術支援



08 CNGバス導入し、
排出ガスを抑制



日本式サービスのバスをベトナム現地で10年以上運営

教育を行えば外国人が日本でバスを運転することは可能

5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

外国人の雇用状況（2025年11月1日現在）

- 整備士（技能実習生） ベトナム人4名
- 整備士（技術・人文知識・国際業務ビザ）ベトナム人3名、インド人1名
- 運転士候補者（特定活動）インドネシア人3名



5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について 外国人運転士の内定状況（2025年11月1日現在）

- インドネシア人6名
- ネパール人4名



5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

インドネシア・ネパールを選定した理由

検討国	通行区分	状況	判定
ベトナム	日本と逆	✓ 要件を満たす（N3所持で運転士志望）人材が少ない印象 ✓ バス運転士に対する職業ヒエラルキー低い	△
インドネシア	日本と同様	✓ 要件を満たす人材が比較的集まった（日本での就労希望者も多い） ✓ 他国に比べると人気のある職業（BRTなど公共交通発達）	◎
ネパール	日本と同様	✓ 免許保有率低い ✓ バス運転士に対する職業ヒエラルキー低い ✓ 経済的に日本とギャップが大きく、日本での就労希望者多い	○
フィリピン	日本と逆	✓ 要件を満たす（N3所持で運転士志望）人材が少ない印象	△
ミャンマー	日本と逆	✓ 日本語力が高く、N3所持者多い ✓ 政情不安により送出が不透明	△

**不足するバス運転手に外国人留学生採用へ
札幌市がモデル事業**

03月26日 18時46分



深刻な運転手不足で路線バスの廃止や減便が相次ぐ中、札幌市はバス会社や日本語学校と連携して、外国人留学生をドライバーとして採用するためのモデル事業に取り組むことになりました。

2025年2月5日の記事

名鉄バス 初の外国人運転士が誕生 「岡崎モデル」の第1号

東京バス、特定技能による外国人ドライバー候補生9人を受け入れ、フィリピンから、今秋デビューを目指す

2025年07月04日 #求人、採用 #経営戦略、事業計画 #訪日インバウンド

5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

インドネシア選考会

ジャカルタ・ソロにある2つの送出機関で選考会実施（計4回）

選考会　・会社説明会・面接・実技試験（施設内、路上）

受験者 62名

内定者 10名（うち入国前に4名辞退）



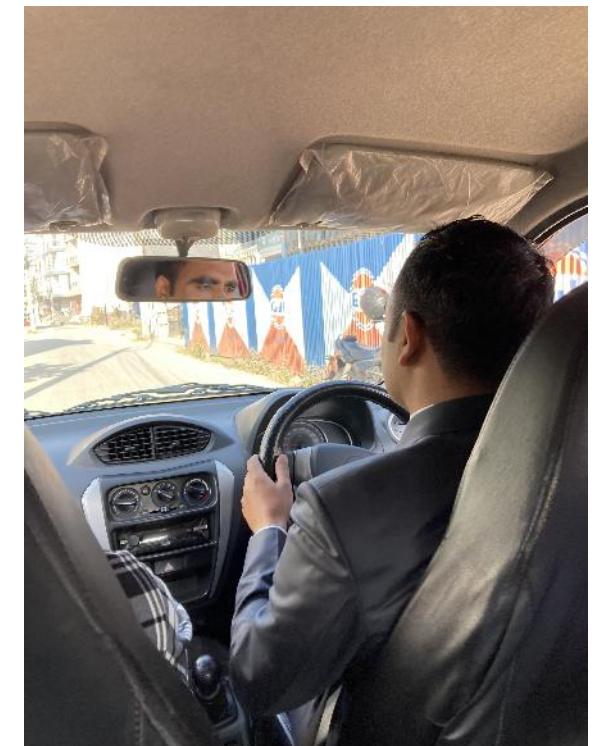
5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

ネパール選考会

カトマンズで選考会実施

選考会 ・会社説明※事前に資料送付・実技試験（施設内、路上）・面接

受験者 12名
内定者 4名



5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

内定後の取組み

運転訓練・日本語学習



日本に入国するまでの期間、運転技能、日本語力向上に向け、送出機関監修の元教育訓練を実施

5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

内定後の取組み

特定技能評価試験



1回での全員合格を目指し、送出機関の指導による試験対策を実施
試験直前は全員で泊まり込みで学習し、高得点で全員合格

5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

内定後の取組み

配属先所属長と教育担当者による現地視察、運転指導



入国前に内定者の国や生活を知ってもらい、懇親を深めることで現場の受入風土を醸成することを目的に実施

5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

入国に向けた手続きと入国後の動向（1期生インドネシア人3名）

- | | |
|-------|-------------------|
| 4月28日 | 入管庁へ申請書類提出 |
| 8月29日 | 入国許可 |
| 9月16日 | 入国 |
| 9月19日 | 外免切替試験（府中運転免許試験場） |
| 9月24日 | 東急自動車学校入校 |



5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

入国に向けた手続き（1期生インドネシア人3名）

10月末

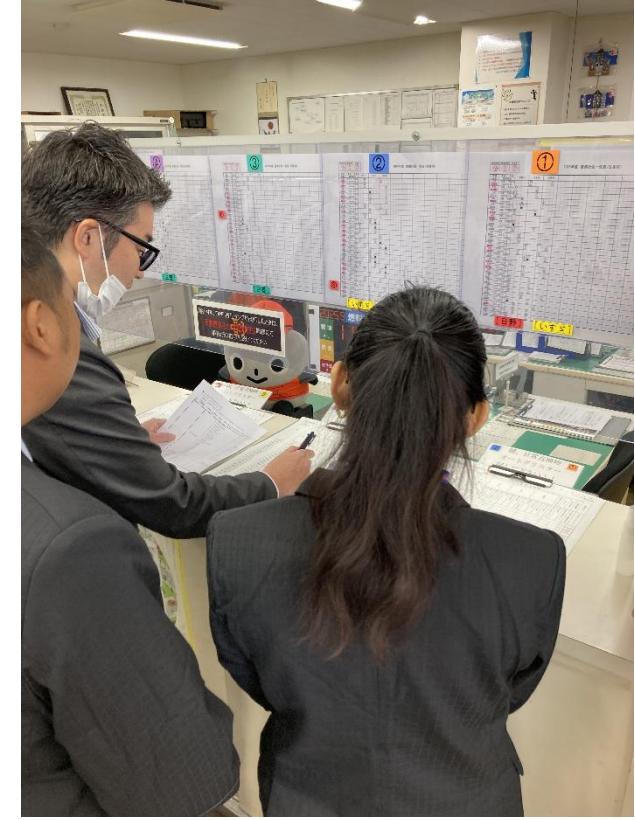
11月初旬

11月14日

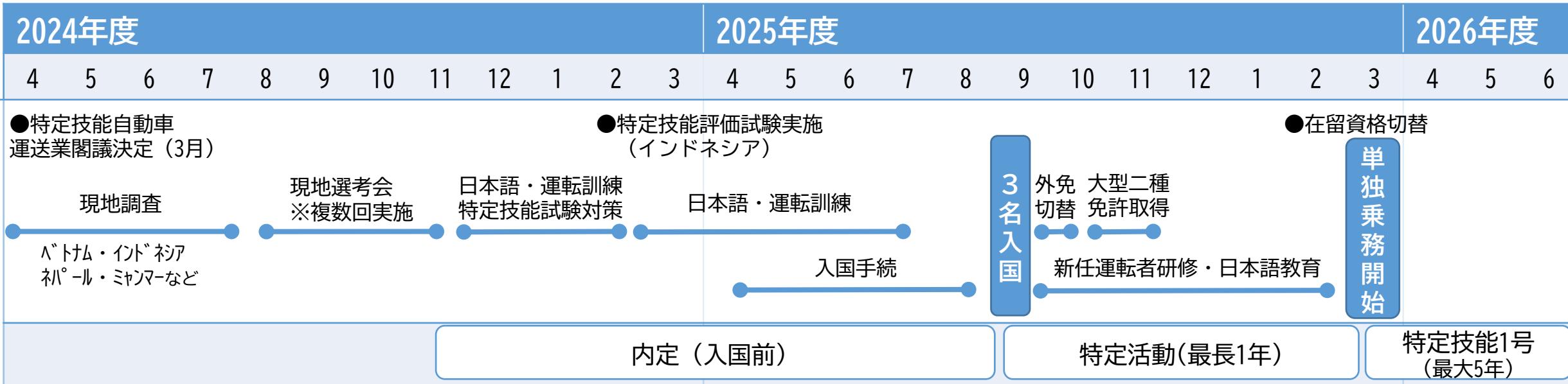
東急自動車学校卒業

学科試験合格、大型二種免許取得

新任運転者研修開始



5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について



特定活動期間中の教育内容

- 自動車学校での自由教習（外免切替対策）
- 新任運転者教習前の追加講習（都内近郊の敷地を借用）
- 日本語教育のブラッシュアップ（日本語教育アプリの導入）
- ⇒日本人入社時の教育カリキュラムにプラスして上記教育等を予定

2025年度中の単独乗務開始を目指す

5. 当社の外国人採用進捗状況と今後について

今後の課題

- 1年以内での特定技能移行（特定活動は最大1年間、更新不可）
- 社内外の受入体制構築（日本人向け研修・PR動画作成、など検討中）
- 登録支援業務の内製化、海外現地での人材育成等の検討



ご清聴ありがとうございました